

K 広報くにみ Kunimi

Mar.2022
No.584

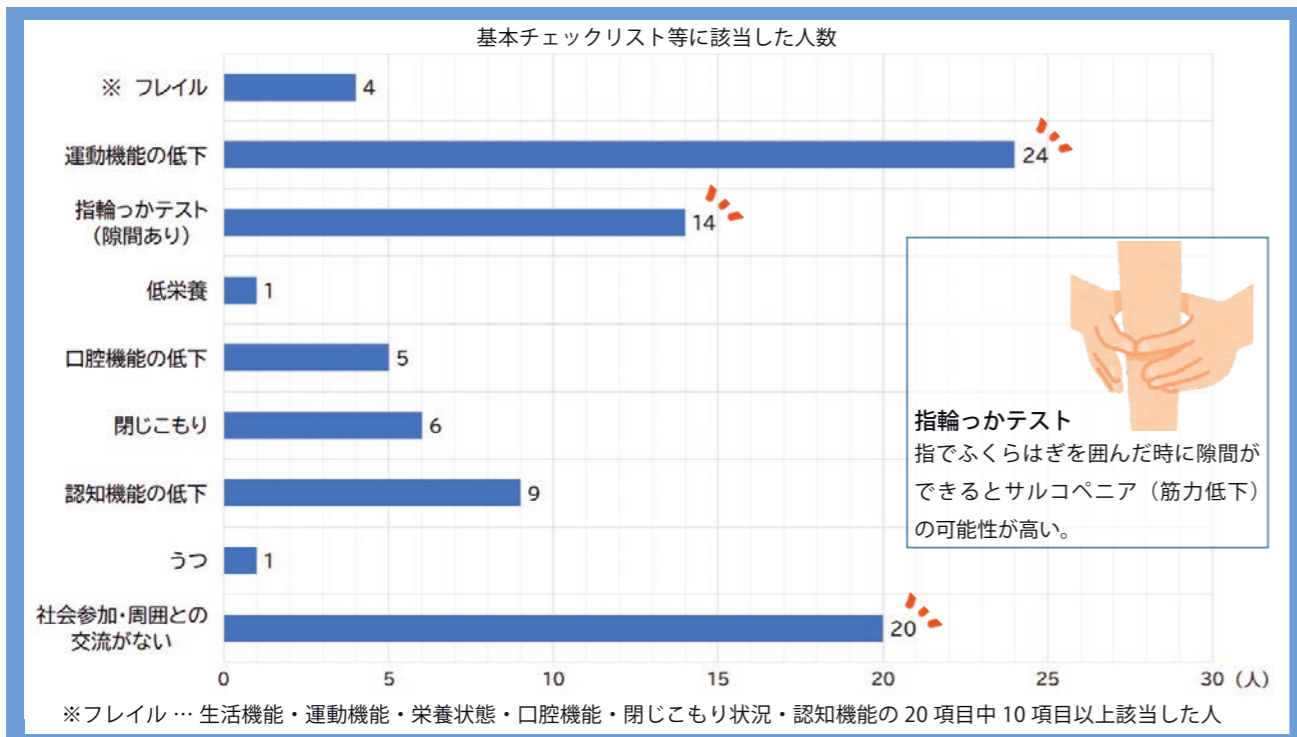
3

“ひなあられ”おいしいよ！

今月の主な内容

- ・コロナフレイル 2
- ・国見町とSDGs 4
- ・国見町PV第2弾公開 6
- ・笑顔のひろば 7

調査結果



国見町の85歳以上の一人暮らし高齢者でフレイルに該当する人は少数でしたが、運動機能が低下している人、社会参加や周囲との交流がない人が多い結果となりました。

今回の調査結果より、社会参加や周囲との交流がない人は、そうでない人に比べて、

“認知機能低下の発生リスクは**1.5倍**” “フレイルの発生リスクは**2.5倍**”であることが分かりました。

感染拡大により外出の自粛や人とのつながりが希薄になりがちですが、日頃から人との関わりを意識することが、フレイルの予防につながります！

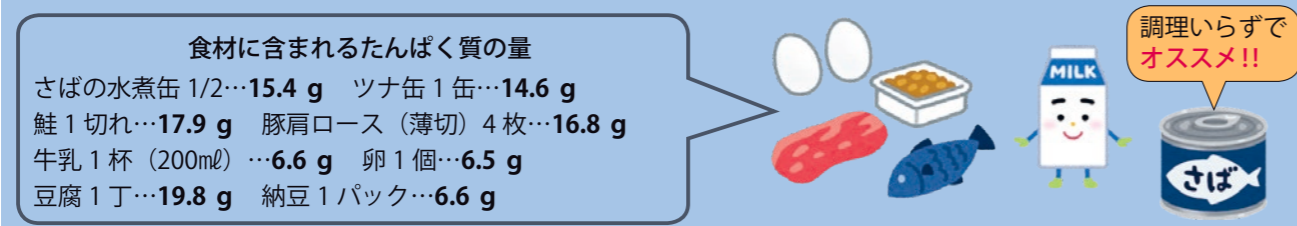
フレイルを予防するためには？

▶ コロナ禍でもできる周囲とのつながり



▶ 食事にたんぱく質を!!

3食均等にたんぱく質を摂取することで、筋肉の合成を高めたり、体温を上昇させ代謝量を上げます。特に朝、重点的にたんぱく質を摂取すると筋肉の増加には効果的といわれています。たんぱく質は1食あたり女性**16g**、男性**20g**が目安です。食材を組み合わせながら意識して取り入れてみましょう。



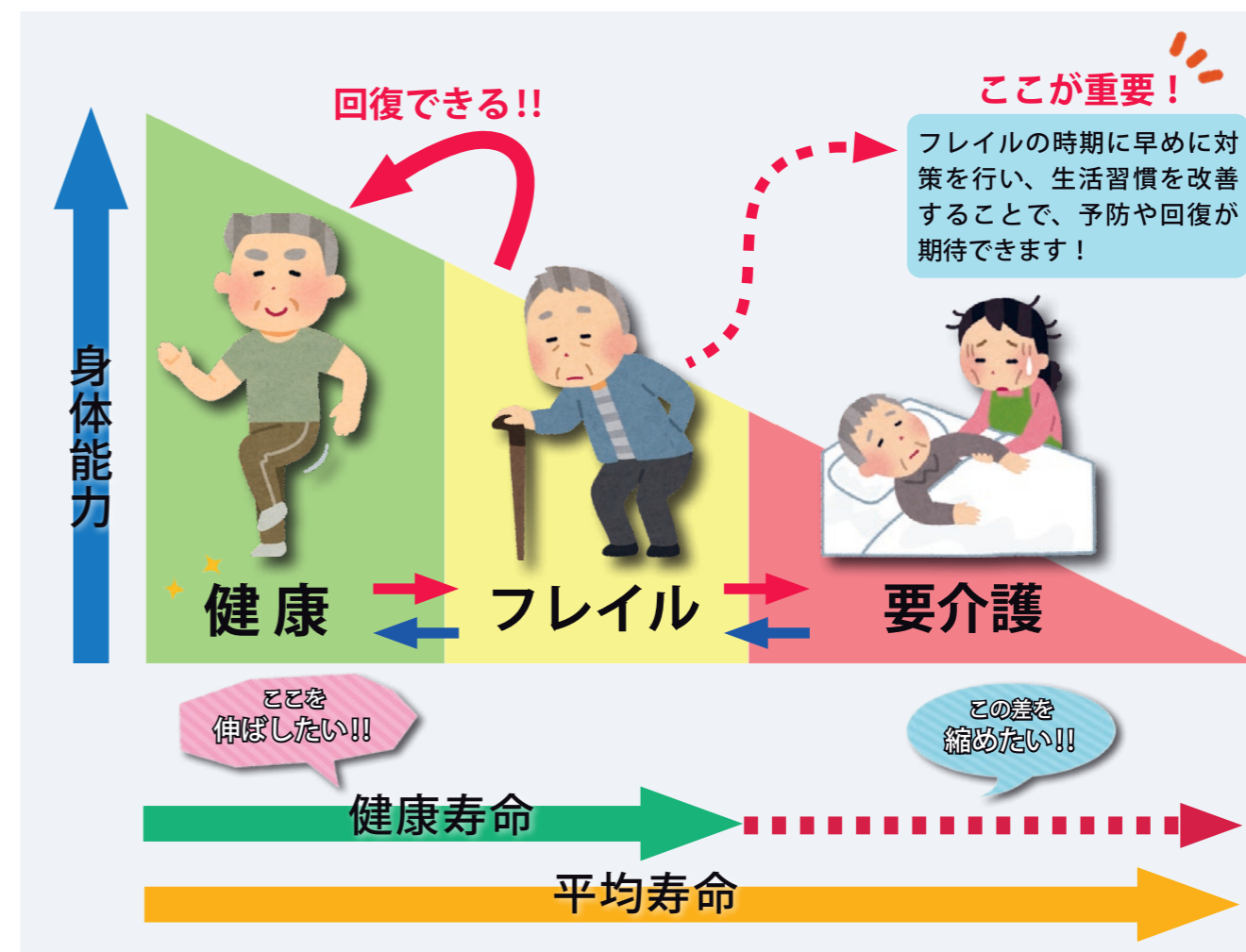
コロナに負けない!! 今こそ“フレイル予防”

— 国見町コロナフレイル高齢者実態調査を実施

新型コロナウイルス感染症拡大により、外出の自粛など動かない生活を続けることでフレイル（心身が衰えた状態）に陥りやすく、その状態は「コロナフレイル」といわれています。国見町のコロナフレイルの実態はどうなのか。町で調査した結果をお知らせします。

フレイルとは？

心身の機能が低下し、「健康」と「要介護」の中間の状態が「フレイル」です。



フレイル予防はなぜ大切？

フレイルになると、健康な人に比べて要介護状態や認知症になるリスクが高いほか、転倒や入院のリスクも高く、健康な状態で長生きできる割合が低いといわれています。また一度要介護状態になると、健康な状態まで回復することがとても難しくなります。

コロナフレイル高齢者実態調査の内容

- 対象者…85歳以上の一人暮らしの高齢者 35名
(介護保険サービス利用者と生きがいデイサービス利用者を除く)
- 調査方法…保健師と看護師が各世帯を訪問し、基本チェックリストで聞き取り調査を実施

※基本チェックリストとは…高齢者が生活や健康状態に関する25項目の質問に答え、心身機能が衰えていないかチェックするもの

私たちが取り組める SDGs 活動

SDGs は一見、日常生活とかけ離れているように思えるかもしれませんが、しかし、私たちの生活のすぐ近くに SDGs につながる取り組みはたくさんあります。

一人ひとりの取り組みが大きな変化につながります。身の回りにある、私たちにできることから始めてみませんか。

- 使っていない電気やテレビをこまめに消す
- 地元の店で地元産のものをかう
- マイバッグを持参する
- できるだけ簡易包装の商品をかう
- 食品ロスを減らすため賞味期限の短い食材からかう
- 食べきれない食品は早めに冷凍する
- 水道の蛇口はこまめに止める
- 風呂の水を散水や洗濯に再利用する



国見町は SDGs に取り組んでいるの？

令和3年3月に国見町が策定した「第6次国見町総合計画 KuniMirai2030」では、SDGs をより身近なものとして感じてもらえるよう、SDGs の基本理念を基本計画に反映させています。

基本計画の各分野施策と SDGs の 17 の目標を紐づけることで、各施策の推進と同時に SDGs の達成に取り組んでいきます。「持続可能なまち」を目指す国見町は SDGs の考え方を積極的に取り入れ、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、さまざまな施策を実施していきます。



第6次国見町総合計画

国見町の取り組み（一部抜粋）

人が集まりまた来たくなるまち



定住・二地域居住の促進

子育て住宅の建設や移住者に対するさまざまな支援制度を実施し、首都圏からの移住定住や二地域居住を推進しています。移住希望者のニーズを的確に把握し、町の魅力を効果的にPRすることで、地域活性化を図り、新たな暮らし方を提案していきます。



建設中の板橋南子育て住宅

安心して子どもを産み育てられるまち



給食費無償化

令和3年4月から幼・小・中の子どもの給食費無償化を実施し、子育て世代への負担軽減を図っています。また、学校給食を活用した食育を推進することで、子どもたちの「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」を育むことを目指しています。



安心安全な給食の提供

おいしい農産物のあるまち



くみに農業ビジネス訓練所

担い手育成や新規就農促進、農業技術の向上や町産野菜のブランド化などの推進を目的として訓練所を運営しています。新規就農希望者等に対して野菜栽培の基礎や実践技術の研修を行うなど、農業環境の充実や人材育成に取り組んでいます。



講習を受ける長期研修生たち

未来のために私たちができること——

国見の未来を SDGs と考える

最近、ニュースや新聞などで SDGs という言葉を目にしたことはありませんか。この言葉は、この先の未来に向けて、世界中の人々がよりよい社会の実現を目指し、誰もがより幸せに暮らすための世界共通の目標です。

まずは SDGs について知り、皆さんも一緒に町の未来を考えてみませんか？

持続可能な社会の実現へ

飢餓や教育格差、環境問題。これらのさまざまな課題を解決し、これから先もこの地球で豊かに生活を続けられる社会をつくるため、2015年9月の国連サミットで SDGs (Sustainable Development Goals) が全会一致で採択されました。「地球上の誰一人取り残さない」(leave no one behind) という持続可能な社会の実現を目指し、2030年までに達成すべき17のゴール(目標)と169のターゲット(具体的な指標)が設定されました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs の3つのポイント

- 誰一人として取り残さない
- 今だけでなく未来に向けて
- みんなが一緒に取り組む目標

世界の共通目標 SDGs

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界規模で瞬く間に拡大したことからも明らかなように、グローバル化が進んだ現代社会においては、国境を超えて影響を及ぼす課題により一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。SDGs に掲げられた目標の達成には、国、地方自治体、企業だけでなく私たち一人ひとりの意識の変化と行動が求められているのです。

笑顔のひろば

豆まき会

藤田保育所とくにみ幼稚園では、2月3日の節分に豆まきを行いました。子どもたちは手作りの鬼のお面や帽子をかぶり、「鬼は外、福は内」と元気よく豆をまき、「泣き虫鬼」や「おこりんぼう鬼」などの悪い鬼たちを、心の中から追い出しました。



町の魅力を美しい映像でPR

町公式プロモーションビデオ“第2弾”を公開

このまちの日常が、わたしの日常に——

2nd Story —

みさきに国見町で暮らす先輩から1本の電話が入る。設計の仕事の手伝いに呼ばれた。去年来たときは秋だったから分からなかったけど、国見町の夏はすごく暑い。この時季は、桃の収穫で農家さんはみんな忙しそうだ。こんなに桃が木に実っているのを見るのは初めてで、感動した。ふとした瞬間に窓から入ってくる風は、この土や桃、その土地の香りで満たされていた。みさきは、この町で暮らす先輩の姿と自分の姿を重ねている。



▲公式PVの視聴はコチラから

新たな町の魅力を感じてください

働き方の多様化や新型コロナウイルスの影響で、ワーケーションという働き方が注目されています。自然や人とのつながりを求めて、少し不便なことも受け入れ、人間らしい感覚を大事にしながら地方で働きたいと思う人が増えています。

私たちは、関係人口創出と二地域居住をテーマに、地域の皆さんも参加した町のPR動画の【第2弾】を制作しました。

温かい人が暮らし、豊かな自然とおいしさに囲まれたステキな国見町を、そのままのカたちで編み込みました。

都会に暮らす方々にとって、国見町が“もうひとつの居場所”になってほしいという思いが込められた作品です。町民の皆さんにも、美しい国見町を味わっていただけると嬉しいです。



企画調整課総合政策係
舟山 将さん

Interview — 出演者の思い —



役者（みさき役）
谷田部 美咲さん

農家さんや商店の皆さん、動画スタッフや役場の方々。出会った人たちから「国見町を拠点に良いものを作ろう!」という「こだわり」をたくさん感じ、それがとても魅力的で素敵だと感じました。

撮影終了後の今でも、ふとした瞬間に、国見町で見た美しい空を思い出し「帰りたいな」という気持ちになります。家族のように接して下さる国見の皆さんに会いに行きますね!大好きな桃や柿は取り寄せて、離れていても国見に関わりたいと思っています。

私が感じた国見町の魅力を、作品を通してたくさんの方々と共に共有できれば嬉しいです。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました!

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



町の歴史をもっと身近に——あつかし歴史館町民講座

あつかし歴史館では「町民講座」を毎月開講しています。今回は町民講座の様子をお伝えします。

地形に学ぶ奥州合戦「大木戸の戦い」

今回の町民講座では、阿津賀志山防塁を舞台に繰り広げられた、源頼朝率いる鎌倉軍と奥州藤原軍との戦いについて、地形の面から歴史をひもといていきます。

町民講座の資料は、郷土史研究に尽力された故菊池利雄さんがまとめたものを活用し、「なぜこの場所に防塁が築かれたのか」「どうして防塁が突破されてしまったのか」などの謎を地形図をもとに考えていきました。実は、防塁には第2防塁が存在していたかもしれないそうです。みなさん知っていましたか？新たな

気づきもたくさんありました。

講座では菊池さんの資料の他にも、町が進めている防塁の発掘調査で明らかとなった成果も交えて解説しています。

歴史の捉え方や楽しみ方はさまざまありますが、町の歴史を知ってもらい、歴史を楽しむきっかけとなってもらえるように今後も講座を運営していきます。

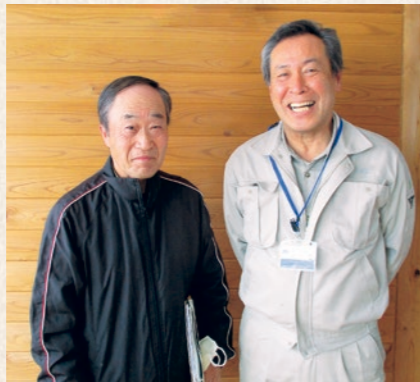


▲町民講座の様子

町民講座参加者

松浦 弘男さん (貝田)

今回で3回目の参加となります。町郷土史研究会が行った「貝田宿屋めぐり」でガイドを務めることになり、勉強していた時に、笠松さんから「歴史館で講座をやっているよ」と誘われ参加するようになりました。仕事で参加できないこともあります。気になるテーマについては、別な日に個別に教えてもらっています。これからも町の歴史について学んでいきたいです。



講師 (文化財調査員)

笠松 金次さん

講座では楽しく、分かりやすい説明を心がけています。歴史をもっと身近に感じてもらえるように、話題の大河ドラマの話なども交えながら話をしています。毎月開講していますので、ぜひ気軽にご参加ください。

歴史まちインフォメーション

令和4年度町民講座スケジュール

- 第1回 4月27日(水) 「伊達五山 光明寺の歴史」
- 第2回 5月25日(水) 「吾妻鏡で読む阿津賀志山の戦い」
- 第3回 6月22日(水) 「伊達氏ゆかりの城館」
- 第4回 7月27日(水) 「奥州街道 国見峠の歴史」
- 第5回 8月24日(水) 「源義経 伝承と実像」
- 第6回 9月21日(水) 「国見町の姓氏 (名字)」
- 第7回 10月19日(水) 「藤田城の歴史」
- 第8回 11月16日(水) 「国見石と石造文化」
- 第9回 12月21日(水) 「伊達植宗と塵芥集」

- 第10回 1月25日(水) 「伊達氏と国見町」
- 第11回 2月22日(水) 「西根堰と村々」
- 第12回 3月22日(水) 「奥州伊達氏の女たち」

時間は各回 午前10時から午前11時30分と
午後1時30分から午後3時までです。

内容等について変更となる場合があります。

参加者
募集中!!

※参加には申し込みが必要です。

申込先：あつかし歴史館 ☎ 585-4520



地域おこし協力隊
田上 沙慧美

地域おこし協力隊活動日記 vol.18

国見産野菜の魅力をお伝えします——



こんにちは。地域おこし協力隊の田上沙慧美です。早いもので、もうすぐ任期が終わろうとしています。この3年を通して様々なことに挑戦してきましたが、最近、町内の農家さんのネット販売を支援しています。

スーパーでは季節を気にせず使いやすい野菜を選びがちですが、私が販売支援をしている「こだわり野菜のはっぴーセット」はその時期に採れる季節の野菜や果物がおまかせで入っていて、珍しい野菜には簡単なレシピをつけて食卓に取り入れやすい工夫をしています。県外からの注文もいただきますが、国見町近郊から農家さんのもとに直接受け取りに来てくださるお客様が徐々に増えてきています。

国見町でも、地元の農家さんが作った新鮮な野菜を食べたり、農家さんから直接野菜をいただく機会が少ない方も多いと思うので、このネット販売を通して、町外へのPRだけでなく、町民の方にとっても国見野菜の地産地消に繋がればと思います。



はた りゅうのすけ

たかの かおり

さいとう ゆわ

おおなみ あゆむ

くにみ幼稚園 (年長組)
【ラーメン】

心なすたオたさ



佳作に選ばれた「広報くにみ 11月号」

広報紙・町村の部で佳作を受賞 第 67 回福島県市町村広報コンクール

第 67 回福島県市町村広報コンクール審査会が 1 月 18 日に行われ、広報紙・町村の部で「広報くにみ 11 月号」が佳作 (3 位) に選ばれました。11 月号では町の学校給食や食育について紹介しています。今回の受賞は、日頃より取材に協力いただいている皆さんのおかげです。今後も皆さんに親しまれる広報づくりを目指しますので、引き続きご協力をお願いします。



3 回目のワクチン接種がスタート

新型コロナウイルス感染症対策 3 回目のワクチン集団接種がスタート

一般町民を対象とした 3 回目のワクチン集団接種が、2 月 8 日から始まりました。集団接種会場となった観月台文化センターには、事前に予約をした約 100 人が訪れ、スムーズに 3 回目のワクチン接種を受けました。
感染予防のために、今後も多くの方に早い段階で接種できるよう進めていきます。



サテライトオフィス（議場）で業務を行う職員

感染防止と町の業務継続のために 町職員が分散勤務を実施

町では、福島県の非常事態宣言とまん延防止等重点措置の適用を受け、新型コロナウイルス感染防止と町の業務継続のため、2 月 1 日から 3 月 4 日までの期間で分散勤務を実施しました。自宅でのテレワークや役場 3 階の議場をサテライトオフィスとして利用したりリモートワークなど、職員全員で感染防止対策に取り組んでいます。



衣装に着替えて写真撮影

ひな祭り気分を満喫 くにみももたん広場ひな祭り

くにみももたん広場では 2 月 17 日から 3 月 3 日までの間、季節のイベントとしてひな祭りが行われました。
桃の節句を楽しんでもらおうと、スタッフが手作りしたおひな様の撮影ブースを設置。訪れた子どもたちが、「内裏ひな」に扮して写真撮影をするなど、ひな祭り気分を楽しんでいる姿が見られました。



講義を行う鈴木光一さん

直売所向け野菜の魅力学ぶ くにみ農業ビジネス訓練所短期研修

くにみ農業ビジネス訓練所では 2 月 24 日、「直売所向け野菜品種と作型」をテーマに短期研修を実施しました。福島県指導農業士会の会長を務める鈴木光一さんを講師に迎え、直売所向け野菜の魅力や消費者が求める野菜についての講義が行われました。鈴木さん自身の農場や種苗店の経営をもとにした講義に、参加者らは熱心にメモを取り知識を深めていました。

春は異動の季節です

手続き 忘れずに

就職や転勤、入学などで住所が変わる場合は、届出が必要です。
この時期は、窓口が混み合いますので、時間に余裕を持ってお早めにおいでください。

☎ 住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115

届出内容	届出に必要なもの	届出期限	備考
転入届 町内へ 引っ越したとき	<ul style="list-style-type: none"> 転出証明書（前住所地で発行したもの） 国民年金手帳・介護保険受給資格証（資格者のみ） 小中学生がいる場合は在学証明書 マイナンバーカード、住民基本台帳カード 	引っ越した日から 14 日以内	本人確認のための書類 (1) 1 点で確認できるもの (写真付き) マイナンバーカード・ 運転免許証・住民基本 台帳カード・パスポートなど
転出届 町外へ 引っ越すとき	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証（加入者のみ） 印鑑登録証 マイナンバーカード、住民基本台帳カード 子ども医療受給資格者証 	転出する 前日まで	(2) 2 点で確認できるもの 健康保険証・年金手帳 又は年金証書・住民 基本台帳カード（写真 なし）など
転居届 町内で住所を 変更したとき	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証（加入者のみ） マイナンバーカード、住民基本台帳カード 子ども医療受給資格者証 	転居した日から 14 日以内	健康保険証・年金手帳 又は年金証書・住民 基本台帳カード（写真 なし）など
世帯主変更届 世帯主が 変わったとき	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険証 子ども医療受給資格者証 	変更があった日から 14 日以内	※外国の方は在留カード

・届出は本人か世帯主、または同じ世帯の方が行ってください。本人か世帯主、または同じ世帯の方が手続きできない場合は、代理人の印鑑が必要です。 ※別世帯の方は委任状が必要です。

他の手続きも忘れずに!

住所が変わると住所変更の届出以外にも、上下水道、医療保険、納税などの手続きも必要になります。詳しくは担当課へお問い合わせください。

各種手続きの問い合わせ先



戸籍、住民票、印鑑登録、住民異動届
住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115



ごみ収集
住民防災課環境防災係 ☎ 585-2116



国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療
ほけん課国保係 ☎ 585-2785



障がい者福祉、生活保護、児童手当
福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793



高齢者福祉、介護保険
福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125



予防接種、母子手帳、健康診断
ほけん課保健係 ☎ 585-2783



納税
税務課収納係 ☎ 585-2780



上水道
上下水道課水道係 ☎ 585-2997



下水道
上下水道課下水道係 ☎ 585-2984



小・中学校
学校教育課学校教育係 ☎ 585-2892
(観月台文化センター内)



幼稚園・保育所
幼児教育課幼児教育係 ☎ 585-2119
(観月台文化センター内)

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション

乳児健診

- 実施日** 令和4年5月26日(木)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児 (令和4年1月生まれ)
9か月児 (令和3年7月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

ニコニコ相談会

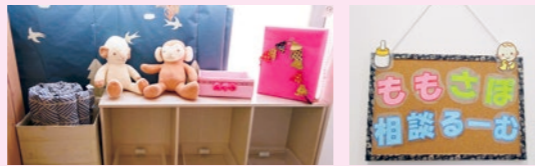
- 実施日** 令和4年5月18日(木)
- 時間** 午前10時～午前11時
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、お子さんの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

3歳6か月児健診

- 実施日** 令和4年5月19日(木)
- 受付時間** 午後1時30分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 平成30年9月1日～
10月31日生まれ
- 持ち物** 母子健康手帳
- 内容** 医師の診察、身体測定、視力・聴力検査など

『ももさぽ』相談の一む

役場の1階にあります。妊娠中のこと、赤ちゃんの育児のことなど気軽にお話できるお部屋です。助産師、保健師、栄養士とお話できます。(ほけん課保健係にお声掛けください)



院長先生の診察室から

【第5回】

立 春が過ぎましたが、まだまだ寒い時期が続いています。暖かくして、加湿して、換気に気をつけて過ごしましょう。トイレ、風呂場は気温が低いので、ヒートショックに十分注意しましょう。

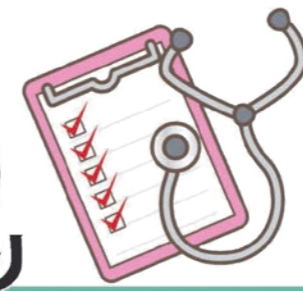
公立藤田総合病院院長 近藤 祐一郎 先生 今年に入ってから、オミクロン株による第6波が猛威を振るっています。若い世代の感染が多いのですが、高齢者で基礎疾患を持つ方は重症となる可能性があり、注意が必要です。

2月からは3回目のワクチン接種が開始されました。ファイザーとモデルナのワクチン2種類があります。効果・副反応に大きな差は認められませんので、できるだけ早めに接種をお願いします。公立藤田総合病院は国見町と協力し、接種が速やかに出来るように取り組んでいます。一方、国産の内服治療薬が近日中に使用認可の予定ですので、期待しているところです。

町民の皆さんは感染対策を継続して、3回目のワクチン接種を受けて下さい。新型コロナウイルス感染が心配な方は、かかりつけ医、発熱外来、受診・相談センターに連絡・相談して下さい。当院は救急・一般診療も行っておりますので、連絡してからの来院をお願いします。新型コロナウイルス感染症の収束には皆様の協力が必要ですので、よろしくお願いします。



ほけん だより



ほけん課 保健係 ☎585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

子宮頸がん予防ワクチンの接種機会を逃した方へ ～定期接種の対象年齢を超えて接種を行います～

子 宮頸がんワクチンの積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対し、公平な接種機会を確保する観点から、時限的に従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行います。詳細が決まり次第、対象となる方へは個別にお知らせします。

- 対象者** 平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ的女子
- 接種期間** 令和4年4月～令和7年3月まで(3年間)
- その他** 1回または2回接種した後に接種を中断し、3回目接種のスケジュールを最後まで完了していない方への対応については、今後国から方針が示される予定です。

食生活改善推進員募集!!

食 生活改善推進員は、食や栄養について一緒に学習したり、地域の皆さんにもお伝えするなど「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食生活を通して健康づくりをすすめるボランティア活動をしています。現在12名が活躍中です。食生活や健康づくりに興味のある方を随時募集しています。

☎ほけん課保健係 ☎585-2783

～食生活改善推進員の主な活動～

- くにみ幼稚園での食育指導
- 親子クッキング教室の開催
- 生活習慣病予防料理教室の開催 など



◀食育教室での様子

食育シリーズ



町 では、食生活改善推進員のみなさんと栄養士が、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。2月は年長児が「バランスよく食べよう!」をテーマに学びました。



生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
 (親月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケじかん LYKKE 時間

最終話「リュッケな時間」

フィンランドやデンマークを30回以上訪れて学んだことの一つに、間違いを恐れすぎないという考え方があります。北欧では、「人は間違えるもの」「計画通りに行かないのが人生!」という言葉とたくさん出会います。自分や他人の間違いを受け入れてみると、思うような結末が迎えられなくても穏やかに過ごせるような気がしてきましたか? 穏やかな気持ちで幸せについて考えると、日常が違って見えてくるかもしれませんね。

これまで、幸せ(リュッケ)な時間、国見町と北欧を繋いで幸せについて考える時間をいただいたことに心から感謝します。



たくさんの学びをくださる北欧の皆さんにも心から感謝!
 (デンマークの子ども達と筆者)

文: 柴田千賀子 (国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)

平成31年4月より連載いただきました、柴田千賀子先生の「LYKKE 時間」コラムは、本コラムをもちまして終了となります。全36回の連載、ありがとうございました。

寒さに負けず元気に滑走!! こどもスキー教室



寒さに負けず全員でスキーを楽しみました

こどもスキー教室がみやぎ蔵王白石スキー場で開催され、町内の小学校4年生から中学校2年生までの15名が参加しました。

参加者は経験に応じて3つの班に分かれ、福島不忘スキークラブ所属のSAJ公認スキー指導員3名の指導のもと、それぞれのレベルに合ったメニューでスキーを楽しみました。

スキー初挑戦で用具の説明を聞くところから始まった参加者が、午後にはリフトに乗ってコースを滑れるようになったり、経験者もレベルの高いコースに挑戦するなど、



講師の指導であつという間に上達しました

笑いで人生を豊かに 初笑い落語を聞く会 (二学期級合同学習)

阿津賀志学級・成人学級・女性教室の三学期級合同学習「初笑いを聞く会」が1月13日に親月台文化センターで開催され、約60名が参加しました。



初笑いを満喫しました

「ふくしま素人落語の会」の皆さんにお世話になり、今年で7回目の開催となりました。毎回、趣向を凝らした内容で、今回は古典落語やオリジナル落語、漫談に三味線など、会場は笑いの渦に巻き込まれ、楽しいひと時を過ごすことができました。

落語会の皆さんは「国見の方はとても反応が早いし、笑ってほしいところで笑ってくれるので、とても落語がしやすい」と話していました。昨年は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、今年度は実施でき、参加者には大変好評でした。

不思議なマジックに興味津々 マジック教室 (国見っ子わんぱく広場)

国見っ子わんぱく広場では、町在住の元小学校長、渡邊勝則氏を講師に迎え「マジック教室」を実施しました。児童44名が参加し「輪ゴムの瞬間移動」など4つのマジックに挑戦しました。



切れないロープに挑戦

また、サブ活動では缶ぽっくり、けん玉など好きな遊びをそれぞれに楽しみました。

親しまれるスポーツクラブを目指して 総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会



プレ事業の内容について話し合いを行いました

第8回総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会が1月20日に開催されました。地域の皆さんに広く総合型地域スポーツクラブを認識していただき、「いつでも」「だれでも」「好きなレベルで」「世代を超えて」「いつまでも」スポーツや文化活動を楽しむことができる場を体験してもらうため、プレ事業を開催することになりました。

今回の委員会では、前回の会議の意見を盛り込んだチラシ案をたたき台にして、プレ事業の内容・種目や周知の仕方についてさらに具体的に話し合いをしました。

3月26日(日)には「みんなではじめよう健康づくりまちづくり」を目指したプレ事業を親月台文化センターで開催します。子どもから大人まで一日楽しむことができるイベントなので、町民の皆さんの参加をお待ちしています。

よみかかせの仕方を覚えよう・おはなし会を組み立てよう 国見町子ども司書講座



大型絵本にも挑戦しました

国見町子ども司書講座第7回活動「よみかかせの仕方を覚えよう・おはなし会を組み立てよう」が、福島子ども本をひろめる会会長の瓶子美千子氏を講師に迎え1月22日に行われました。受講生は講話の中で、幼少期から絵本に親しむことの必要性、年齢や発育に応じた絵本の選書や読み方、よみかかせのポイントについて学習しました。



講師の先生とわらべ歌の練習

わらべうたを取り入れたプログラムを組み立てました。始めは緊張した様子だった受講生も、講師のアドバイスのもと練習を重ね、本番同様に一連の流れを確認し、おはなし会を心待ちにしていました。

一年間の活動を動画にしました 国見ジュニア応援団



動画撮影にチャレンジ!!

令和3年度チャレンジ!子どもがふみだす体験活動応援事業「国見ジュニア応援団」の第10回活動が行われました。活動では1年間の振り返りを行い、団員ごとに担当の活動を決め、原稿作成や動画撮影を行いました。動画撮影時は、何度かNGをだしながらも団員同士協力し合い、楽しく撮影することができました。団員の中にはウグイス嬢のような声を出せる団員もいて、普段と撮影時とのギャップに周りの団員も驚いていました。

作成した動画は、県内他市町村の動画と一緒にYouTubeで公開される予定です。

LINEで情報を発信

国見町 LINE 公式アカウント

チェック1
友だち登録は①または②の方法から

① LINE アプリでID検索
「友だち追加」検索窓に以下を入力して検索

@kunimimachi 検索

② 2次元コード読み取り
「友だち追加」から、右のQRコードを読み取り

新型コロナ ワクチン接種予約などは「新型コロナ」

基本メニュー 町の各種情報は「基本メニュー」

チェック2
タブでメニューを切替
「新型コロナ」「基本メニュー」が選べます。

チェック3
「受診設定」から欲しい情報を選択
新型コロナウイルス情報、町からのお知らせなどメッセージが届きます。
【注意】受信設定をしないとメッセージは届きません。

お知らせ

西根堰土地改良区 農地異動届

伊達西根堰土地改良区費の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。令和4年度の水利費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届出をお願いします。

- ▼届出が必要な場合
 - ・農地の売買などにより所有者が変わったとき
 - ・地区除外をするとき
 - ・経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
 - ・農地の賃借があったとき（水利費の支払義務者を確認してください）
- ▼届出期限 3月18日(金)
- ▼届出・問い合わせ 伊達西根堰土地改良区 ☎ 582・2319

イキイキ子育てクラブに参加してみませんか

地域子育て支援センター（藤田保育所内）では、令和4年度もイキイキ子育てクラブを行います。興味がある方は、ぜひ参加ください。

- ▼期間 令和4年5月から令和5年2月まで
- ▼場所 藤田保育所
- ▼主な活動内容 戸外遊び、親子ふれあい遊び、人形劇鑑賞、手作り玩具遊び、季節の製作遊び、クリスマス会、お正月遊びなどです。また、そのほかに誕生会があります。
- ▼対象 就学前のお子さんとその保護者や家族
- ▼申込締切 4月28日(木)まで ※申し込み、問い合わせについては土日、祝日を除く午前9時から午後5時までの間に直接、藤田保育所まで連絡ください。
- ☎ 藤田保育所 ☎ 585・2374

2022ミスピーチ キャンペーンクルー

福島のかだものどあなただの元気で全国にエールを届けませんか？

- ▼応募資格
 - ① 18歳以上で心身ともに健康な方（高校生は除く）
 - ② 県内に居住または在勤・在学し、福島市役所やPR場所等に通勤可能な方
 - ③ 年間20日以上かだものPR活動ができる方（特に7月から8月はPR活動が集中するため、他の要件よりも優先して活動に専念できる方）
- ※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、映像による選考を行う場合があります。
- ▼募集人員 10名以内
- ▼応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、応募先へ持参または郵送・FAXで応募ください。
- ※福島県くだもの消費拡大委員会ホームページからネット応募もできます。
- ▼応募先 〒960・8601 福島市五老内町3-1 福島市役所農業振興課内 福島県くだもの消費拡大委員会事務局「キャンペーンクルー」担当
- ▼応募締切 4月11日(日)正午必着
- ▼選考会 4月23日(土)（詳細は応募者に通知）
- ▼副賞 賞状、トロフィー、旅行券（10万円相当）、記念品等
- ☎ 福島県くだもの消費拡大委員会事務局（福島市役所農業振興課） ☎ 529・7663



教育委員会

3月の教育委員会定例会は次のとおりです。傍聴においでください。

- ◆日時 3月11日(金) 午後5時15分から
- ◆場所 観月台文化センター 第1会議室
- ※傍聴希望の方は事前に連絡をお願いします。

☎ 学校教育課 ☎ 585-2892

農業委員会

3月の農業委員会定例会は次のとおりです。傍聴においでください。

- ◆日時 3月15日(火) 午後1時30分から
- ◆場所 役場2階 大会議室

☎ 農業委員会事務局 ☎ 585-2890

4月の各種相談会

『障がい者相談』

- ◆日時 4月19日(火) 午前10時～午後4時
- ◆場所 観月台文化センター 第2和室
- ◆相談員 NPO法人「ひびきの会」

『心配ごと相談』

- ◆日時 4月14日(火)、4月28日(火) 午前9時～正午
- ◆場所 観月台文化センター 第2和室
- ◆相談員 民生児童委員

※秘密は厳守、相談無料です。

☎ 福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793

『国見町結婚世話やき人 月例相談会』

- ◆日時 4月24日(日) 午前10時～午後3時
- ◆場所 観月台文化センター 第2研修室

広報くにも & 町ホームページに 広告を掲載してみませんか？

町では、広報くにもや町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。詳しくは問い合わせください。

申込期限（4月号掲載分）：3月18日(金)まで

広報くにも

1 枠 (縦 45 ^{ミリ} ×横 174 ^{ミリ})	12,000 円 / 1 回
半 枠 (縦 45 ^{ミリ} ×横 84 ^{ミリ})	6,000 円 / 1 回

ホームページ

1 枠 (トップページ下段)	6,000 円 / 月
----------------	-------------

☎ 総務課文書広報係 ☎ 585-2113

マイナンバーカードに関するお知らせ

3月のマイナンバーカード休日臨時窓口は次のとおりです。まだマイナンバーカードを持っていない方は、この機会にぜひマイナンバーカードを作りましょう。

- 日時 3月27日(日) 午前9時～午後4時
- 受付場所 住民防災課戸籍係（緑の窓口1番）

☎ 住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115

忘れてませんか？東京名人会の払い戻し

2月2日に開催予定だった宝くじ文化公演のチケット払い戻しを行っています。

手続きがまだの方は、チケットを持参のうえ観月台文化センター窓口へお越しください。

- ◆払戻期限 令和4年3月25日(金)

☎ 生涯学習課文化スポーツ係 ☎ 585-2676

3/8 火	・広報くにみ3月号発行日 ・乳幼児健診(1歳6か月)
9 水	・いきいきサロン第3(午後1時半～) ・女性教室閉講式
10 木	・いきいきサロン藤田(午前10時～) 耕谷(午後1時半～)
11 金	・心配ごと相談 ・いきいきサロン第8・9(午後1時半～)
12 土	・成人学級閉講式
13 日	・子ども司書講座閉講式
14 月	・町民講座(手話教室)、町長杯囲碁将棋大会 ・いきいきサロン泉田下(午前10時～) 山崎(午後1時半～)
15 火	・いきいきサロン山根(午前10時～) 徳北・第7(午後1時半～) ・障がい者相談 ・阿津賀志学級閉講式
16 水	・いきいきサロン第1(午後1時半～) ・ママカフェ(文化センター・第1和室) ・粗大ごみ収集日
17 木	・いきいきサロン第2(午後1時半～)
18 金	・いきいきサロン大木戸(午後1時半～)
19 土	・観月台クラシックギター日和 ・少年仲間づくり教室閉講式
20 日	・町民講座(手話教室)
21 月	・春分の日
22 火	・いきいきサロン石母田(午後1時半～) ・図書館蔵書点検～3/25まで
23 水	
24 木	・いきいきサロン泉田中(午前10時～) ・乳幼児健診(3・9か月) ・心配ごと相談 ・ブックスタート
25 金	・いきいきサロン源宗山(午前10時～) 光明寺(午後1時半～)
26 土	・総合型地域SCプレ事業
27 日	・結婚世話やき人相談会
28 月	・いきいきサロン板橋(午前10時～) 高城(午後1時半～)
29 火	
30 水	・いきいきサロン貝田(午後1時半～)
31 木	・いきいきサロン大枝(午後1時半～)
4/1 金	・いきいきサロン第4(午後1時半～)
2 土	・町文連文化講演会(※3月5日から延期)
3 日	
4 月	・いきいきサロン川内(午後1時半～) ・文化センター休館日
5 火	・いきいきサロン内谷・鳥取(午後1時半～)
6 水	・いきいきサロン太田川(午後1時半～)
7 木	・いきいきサロン塚野目(午後1時半～)
8 金	・いきいきサロン第8・9(午後1時半～)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため記載の各種事業やイベントなどが中止・延期となる場合があります。最新情報については町ホームページ又は担当課などへ確認してください。

4月の休日当番医 (診療時間：午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
3日(日)	(社医) ぼばらクリニック (伊達市保原町大泉小作逢 15-1)	☎ 574-2522
10日(日)	(医) なかのクリニック (伊達市保原町城ノ内 20-1)	☎ 575-2246
17日(日)	(医) ながえクリニック (伊達市保原町中村町 30-1)	☎ 575-1118
24日(日)	まつもとクリニック (桑折町谷地追分 1)	☎ 582-4800
29日(祝)	ミツバチいたみと眠りのクリニック (伊達市宮前 29-1)	☎ 572-5328

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

1月21日～2月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 誕生おめでとう ●

谷津 陽斗ちゃん (宮東)
陽介さん 由貴さん

● おくやみ申し上げます ●

斎藤キヨ子さん 92 (徳江北)
武田 常儀さん 79 (滝山)
佐藤二三夫さん 74 (大町南)
佐久間公一さん 61 (第1)
佐藤 元さん 85 (石母田東)
大塚 信子さん 72 (駅前)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和4年1月31日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,593 人	(-8)
男	4,128 人	(-7)
女	4,465 人	(-1)
世帯	3,401 世帯	(±0)

ひとりで悩んでいませんか？ひとりで抱え込まずに相談してください

3月は「自殺対策強化月間」です。就職や進学、転勤や転居など生活環境が大きく変わり、精神的負担が大きくなる時期です。からだの健康と同様に、こころの健康を保つことはとても大切なことです。ひとりで抱え込まずに、安心して相談してください。相談は無料で秘密は固く守ります。

相談機関・相談窓口	連絡先	相談受付時間
こころの健康相談ダイヤル	☎ 0570-064-556	月～金 午前9時～午後5時 ※祝休日・年末年始を除く
福島いのちの電話	☎ 536-4343	毎日 午前10時～午後10時 ※毎月第3土曜日は午後10時～翌日午前10時
	☎ 0120-738-556	毎月10日 午前8時～翌日午前8時
岩手・宮城・福島専用よりそいホットライン	☎ 0120-279-226	24時間 365日
県精神保健福祉センター	☎ 535-3556	月～金 午前8時30分～午後5時15分 ※祝休日・年末年始を除く
県北保健福祉事務所	☎ 534-4300	
町福祉課社会福祉係	☎ 585-2793	

広告掲載

広告掲載

広告掲載

編集後記

今月号の表紙は、3月3日にくにみ幼稚園で行われたひな祭り誕生会の様子です。先生たち手作りの人形劇で、ひな祭りの由来を楽しく学んだ後、みんなで楽しく「ひなあれ」を食べました。ピンク、白、緑のひなあられをひと粒ずつつまみながら「甘くておいしいね」「ハートの形もあるよ!」とうれしそうに食べる姿がとてもかわいらしかったです。

(N・S)

広報くにみ2月号のお詫びと訂正

広報くにみ2月号20ページに掲載の「国見の輝き人」において、記事の内容に誤りがありました。正しくは次のとおりです。

ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びし、訂正いたします。

■訂正箇所 【誤】東陵高校 ⇒ 【正】東稜高校

国見の輝き人

地域医療に貢献したい——

佐藤 梨夏^{りか}さん（滝山）

看護師を目指すきっかけは、私の叔母が看護師だったことです。叔母が働く姿を見て、小学生のころから将来は看護師になりたいと思うようになっていました。

患者さんから感謝の言葉をかけてもらったり、患者さんが笑顔で退院していく姿を見られた時に、看護師としての仕事にやりがいを感じています。

常に患者さんの立場に立って、検査や処置、手術などを行うときにはその都度しっかりと説明を行うようにしています。“安全安楽”に入院生活を過ごしてもらえるよう、患者さんに寄り添った看護を提供できるよう常に心掛けています。

看護師としての目標は、今後も“安全安楽”な看護を提供できるように、知識や技術の習得に励んで、患者さんから信頼される看護師になりたいです。

新型コロナウイルスの感染が拡大していますが、今後も感染対策をしっかり行って、みんなで一丸となって頑張って乗り越えていきましょう。

※安全安楽…事故や危険の無い環境で、不安や不快などの苦痛が無く、快適に治療や看護を受けられる状態



佐藤梨夏さんは、令和3年4月から公立藤田総合病院に入職。病棟での勤務を通じて、生まれ育った国見町の地域医療に貢献しています。

町長コラム



ま
真こらむ

【第8回】

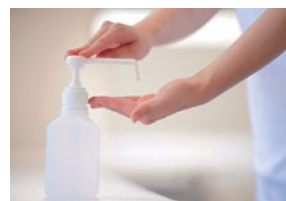
「手強い奴ら」

看護師が、医師が、泣く。「ひょっとして自分が…」と。休憩もままならない長い勤務が終わり、引継ぎの時間。ふと我に返ったとき、涙がこぼれる。それが皆に伝わる。

1月末から職員と入院患者に新型コロナウイルスの陽性が続いた公立藤田総合病院。入退院と新規外来の停止、予約診察も可能な限り電話処方に切り替える。院内に対策本部を立ち上げ、保健所と県立医大の指導を受けながら、院長はじめ全職員で抑え込みに挑む。事務職員たちも発生後に止まった清掃、リネン業者たちの業務を担う。「日赤も済生会もそうだった。コロナは怖い病気。医療者の体と心を食らい尽くす」と病院事務長。

一方、国見と桑折のワクチン接種は、予定どおり続ける。地域医療の中核としての矜持と使命感から。今の彼ら、彼女らを支えているのは、この2つなのだろう。院内現場の壮絶さを思いながら、どうか持ちこたえてほしいと心を贈る。

新型コロナウイルスは、細心を払っていても罹ることがある。アイツらは手強い。ならば私たちが行政と病院は、退かない、諦めない。



引地 真

※2月28日から通常体制での診療を再開しました